

ITER・BA計画に係る共同研究の 検討にあたっての視点

- 世界（特にアジア）において、我が国の存在感・リーダーシップが示せること。
- プロジェクトとしてのミッションを着実に遂行するとともに、学術研究面での成果が上がるものであること。
- 原子力機構と大学等が強い連携の下、円滑な研究活動の展開が可能となる体制となっていること。
- 競争的であるとともに透明性のある仕組みであること。
- 人材育成（特に若手研究者の育成）に資するものであること。
- 原子力機構における業務運営の効率化に関する目標に対応するものであること。
- 個々の研究者が所属する大学側にもメリットのあること。